

●パラナ州治安情報（州西部における大麻1.9トンの押収）

昨年12月27日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙はパラナ州西部にあるエントレ・リオス・ド・オエステ市（パラグアイとの国境付近）にて軍警察が大麻1.9トンを押収した旨報じています、概要を以下のとおりお知らせします。

1. 昨年12月25日夜、パラナ州西部地方のエントレ・リオス・ド・オエステ市において軍警察第19部隊が大麻1.9トンを押収した。同市住民が不審な行動をしていた者に気付き警察に通報したもので、彼らは車両で逃走したが誤って家屋に衝突、大麻を搭載した車両を残し逃走した。

2. 軍警察によると、2008年、パラナ州における過去最大の麻薬押収量であった大麻8トンの押収事件も、同市で発生した。

●ブラジル経済（パラナ州南西部地域における旱魃被害：報道）

1月6日付当地「ガゼッタ・ド・ポーヴォ」紙は、パラナ州南西部地域における旱魃で、既に穀物255万トンの収穫減を記録し、被害額は15億リアルに上る旨報じています、記事の概要を以下のとおりお知らせします。

1. パラナ州政府によると、パラナ州南西部に位置する8つの市（カピタンレオニダスマルケス市、プランシタ市、サントアントニオドオドステ市、ノーヴァエスペランサドスドステ市、ピニャルデサンベント市、リオボニトドイグアス市、ボンジェズドスル市及びバラコン市）では、昨年11月及び12月に発生した旱魃により穀物収穫に被害が出たため、右8市は緊急事態宣言を発令し、現在被害状況を検証しているところである。

2. 5日、パラナ州農務局農業経済部は、州南西部地域の大豆、トウモロコシ、フェイジョン豆等の穀物収穫高が、旱魃により、当初予定の2,213万トンから11.5%減（255万トン減）となる1,958万トンに減少し、被害額は15億リアルに達する旨発表した。

3. 品目別にみると、大豆は1,410万トンから10%減の1,270万トン、トウモロコシは740万トンから14%減の640万トン、フェイジョン豆は43万600トンから19%減の34万8千トンへと減少、被害額については、大豆は10億リアル、トウモロコシは3億7,970万リアル、フェイジョン豆は1億1,740万リアルに上る見込みである。